

## 谷津山の野鳥

谷津山は市街地の中にある独立した低い山のため、生息する野鳥はそんなに多くありません。ヤマガラやシジュウカラ、キジバト、ヒヨドリ、メジロなど身近な野鳥が一年中見られます。



## 谷津山の竹林

谷津山でも、手入れがされないため増えた竹林があちこちに見られます。放置しておく、生物多様性が低下してしまうだけでなく、土砂災害などへの影響が考えられるため、ボランティアの団体が、竹林の伐採や管理を進めています。



## 谷津山の昆虫

谷津山では、モンシロチョウやアゲハチョウなどのチョウを見つけることができます。日本固有種のヒカゲチョウも数多く生息しています。

冬でも日当たりの良い草むらでは、ツチイナゴの成虫が見つかります。成虫は地味な茶褐色をしています。夏になると鮮やかな黄緑色の幼虫が出現します。



# 静岡いきものの 市散策マップ

## 谷津山コース



### 山頂付近から北西の眺め



賤機山がよく見えます

### 山頂付近から南東の眺め



八幡山がよく見えます

### 谷津山古墳からの眺め



日本平と駿河湾がよく見えます

## 駿府音羽山清水寺

室町時代、今川氏輝の遺命により重臣の朝比奈元長が建立したお寺です。谷津山周辺を京都の東山に見立てて、清水寺と名付けました。



## イチヨウ

古い木になると気根(きこん)と呼ばれる乳房状の突起が垂れ下がります。秋になると葉が黄色くなります。



GPS情報: N 34 58 45.1 E 138 23 46.7

## 谷津山の成り立ち

数万年前、庵原山地から延びる尾根が安倍川から運ばれてくる土砂によって埋まっていき、尾根の高いところだけが孤立した山のように残りました。この部分が、現在の谷津山となっています。



賤機山から見た谷津山の全景

## 谷津山古墳

谷津山古墳は古墳時代前期の前方後円墳で、静岡清水の中で最も古く、最も大きい古墳です。(全長約110m、高さ約10m)

大きな板石で覆われた竪穴式石室に、朱を塗った木棺が納められていました。また銅鏡、剣、やじり、管玉など、社会的地位の高さを示す副葬品が出土していることや、古墳の規模や形態、静岡清水を見渡す立地条件から、古代の駿河国の前身である、廬原国(いほはらこく)の首長の墓といわれています。

## スタジイ

シイの仲間です。ツブラジイと違い、樹皮が縦に裂けます。この木はとも古い木で、樹齢300年前後と推測されています。



GPS情報: N 34 58 59.6 E 138 24 07.1

## ヤマモモ

初夏に2cm程のプツプツした赤い実をつけます。実が桃のように食べられることからヤマモモという名前がつけました。



GPS情報: N 34 59 09.5 E 138 24 26.9

## 護國神社の森

昭和16年に静岡護國神社が造られた時、静岡県下各地から、ふる里の樹木が寄せられ、植えられました。今では、多くの立派な樹木が茂る森(照葉樹林)となりました。

この森はふる里の森づくりのモデルであり、樹木を観察するのにとても良いところです。昭和60年に静岡県の「お宮の森・お寺の森百選」のひとつに選ばれ、自然学習コースとなっています。



護國神社本殿



照葉樹林の森